

大正琴・ベル・朗読劇団

ワン
ONE♡ハート

訪問ボランティア通信

2013年1月号
NO 139

本部 0467-79-1379
046-231-3285

大正琴	中村地区センタ 第2,4月 13:30	中村地区センタ 第2,4水 12:30 14:00	南部ふれあい 第2,4木 11:00	いずみ会館 第1,3木 13:00	柏ヶ谷 コミセン 第1,3金 9:40	柏ヶ谷生協 第2,4金 9:30 10:30	国分コミセン 第1,3金 13:00	サニブレイス 座間 第2,4土 9:30
座間 ベル	サニブレイス座間 ムーミン 第1,3土 時間未定	海老名 海老名福祉会館 第1,3水 10:00	綾瀬 綾瀬中央公民館 虹(にじ) 第2,4水 15:15	綾瀬中央公民館 鳳(かぜ) 第2,4木 14:00	吉岡地区センタ 幸(さち) 第1,3木 16:00	南部ふれあい 宙(そら) 第1,3木 16:00		
朗読 劇団	サニブレイス座間 座間VOICE 第2,4土 14:00	海老名福祉会館 海老名VOICE 第1,3月 13:00	中村地区センタ 綾瀬VOICE 第1,4水 12:00					

2013年になりました。今年の念頭にそれぞれどんな目標を立てられたのでしょうか。まず第一は健康ですね。健康管理してみんなで爽やかな1年を過ごしましょう。今年も真摯に学び合いそして語り合い、喜びと感謝の思い・愛を地域の皆様にお届けしていきたいですね。実りある一年にしていきたいと思います。

1月・2月の活動予定
1/29 落合自治会老人会新年会
スイトピー
2/2 寺尾児童館ベル 夢キャラ
2/12 ひばり小1,2年 座間ボイス
2/19 ひばり小5,6年 座間ボイス

お知らせ
3月10日(日) 南部ふれあい祭り
開催され、南部琴と中村水琴
が出演、司会は綾瀬ボイス担当
です。応援においで下さい。
12:00 12:20 演奏です。

海老名市生涯学習発表会に出演しました

12/1,2(土)(日)に海老名市文化会館小ホールなどで 海老名市生涯学習発表会(旧公民館祭り)が開催され、ワンハートでは海老名ボイスが「春の別れ」と「尻尾で油を盗んだ狐」を公演しました。実行委員として尽力された船津さんより報告頂きました。

初冬の折、第27回生涯学習研究発表会が開催されました。「若さと生きがいを目指す仲間の成果発表の場とする」が今回の開催趣旨です。海老名ボイスでは、2作品を公演しました。横佐知子作「春の別れ」心やさしい気高い若君が、家宝の硯を誤って割ってしまった青年に深い温情で許した事から、親子に行き違いが生じた、切ない情愛が描かれています。心を込めて演じました。もう一つは、大谷に伝わる民話「尻尾で油を盗んだ狐」です。我が姿を変え、日暮れ時に毎月油を少量ずつ買ってくる狐、油問屋「あぶらや」の小僧、番頭、おかみさんと繰り広げられる様子、だまされ慌てふためく様子を面白おかしく表現しました。寒さの中、ご来場下さいました皆様ありがとうございました。今後も一丸となり、精進したいと思います。今日の豊かな喜びと感動に一同感謝いたします。



12月はベルコンサートであふれましたね、それぞれの会場で楽しい響きになりました。今回は座間ベルムーミンの訪問模様をリーダーの村上さんにご報告頂きました。さまざまな工夫で喜んで頂いた様子が伝わってきます。ただ訪問に際しての移動方法についての難しさが書かれています。この事については、どの活動にも共通する難問です。名案があると良いのですが、真剣にみんなでお話ししたいと思います。

東原保育園大正琴コンサート

12月7日に元気な園児たちの東原保育園へ伺いました。柏ヶ谷生協の新入会の方々も応援に来てくださり、園児たちへ大正琴の説明や手遊びもプログラムに入れました。東原保育園は0歳からの保育園で、100名近くで興味一杯の眼差しで演奏を見て聴いていました。先生方の体験演奏「夕焼け小焼け」では2~3分の練習で立派な演奏になり拍手と感嘆の声が上がりました。園長先生のご参加にも感激し猛練習した「チューチュートレイン」や「勇気100%」は園児たちの声と一体になった演奏になりました。アンコールの大合唱は「勇気100%」です。大合唱の中で演奏し、元氣と感動を頂いた一日でした。

文 高野和子 写真 東原保育園提供



真剣な姿勢で聞き入っている園児たち

初めてのコンサート

11月21日(水) デイサービス「みかんの家 かがやき」で大正琴のコンサートを行いました。私たち二人(竹原、石渡)の自主訪問コンサートデビューです。グループ名は、初めての会場にちなんで「オレンジハウス」と名づけました。デイサービスでは、毎日4~6名の方がいらしているようですが、その日は職員の方が声をかけて下さり12~13名の方が待っていてくれました。ドキドキしながら「浜千鳥」から始まり10曲「赤とんぼ」まで演奏しました。緊張しましたが楽しく演奏できました。聞いて下さった方々はどうだったのでしょうか? 最後には皆さん笑顔になっていました。又こういう機会があるといいね、と二人で思いました。

文 オレンジハウス 石渡淑子

お二人は国分コミセンに所属されています。初めての自主コンサートのドキドキ感が伝わってきますね。次回もその次もこの新鮮な思いを忘れずにコンサート活動をしていって下さい。応援しています。

12月に入った最初の土曜日の1日、サニブレイス座間のデイサービスに津山先生とベル11人で伺いました。曲はクリスマスソング2曲を含めて6曲、トーンも久しぶりに使い、津山先生の曲当てクイズ、藤井さん指導の「ごんべさんの赤ちゃん」の手遊びなどを交え、皆さんに楽しんでいただけたようです。

次の土曜日の8日は、北里東病院近くのきらら作業所での「きらら祭り」に午前中の出演ということで3台の車で伺いました。会場は満員でしたが、観客に若い方が多いということで、今後は選曲を考える必要がありそうです。

25日 クリスマスの日には、相模が丘の「ゆかり」というデイサービスに初めて伺いました。暮れも押し詰まっているということで、久留島さんを含めて参加者は6人(うち、一人は入会間もないので鈴のみ)の予定でしたが、当日になって体調不良で一人が欠席、4人でやることに・・・。朝からベルの受け渡し練習に時間をとられ、本番まで屋敷抜きで混雑した道路を裏道を通り、やっと時間までに到着。津山先生の司会などに助けられ、どうにかこうにかやり終えました。また利用者の皆さんは元気な方ばかりで喜んでいただけたようですが、寒い時期の訪問は風邪などの流行を考えると、少数での予定は難しいと感じました。

また、このところの訪問では、先方へ出かける「足」が悩みの種です。ベルはあまり少ない人数ではできませんし、大勢だと車が何台も必要です。私を含め運転手の高齢化とともに車の台数も減ってきていますし、遠くの初めての場所への(運転も難しく)訪問も大変だなあと感じています。



心を合わせたベルの響きと久留島さんの歌声